

各 位

上場会社名	スターツ出版株式会社
代表者	代表取締役社長 菊地修一
(コード番号	7849)
問合せ先責任者	執行役員管理部長 金子弘
(TEL	03-6202-0311)

業績予想の修正に関するお知らせ

最近の業績動向を踏まえ、平成21年5月12日に公表した業績予想を下記の通り修正いたしましたのでお知らせいたします。

記

(金額の単位:百万円)

平成21年12月期第2四半期累計期間個別業績予想数値の修正(平成21年1月1日～平成21年6月30日)

	売上高	営業利益	経常利益	四半期純利益	1株当たり四半期純利益
	百万円	百万円	百万円	百万円	円 銭
前回発表予想(A)	1,700	10	15	7	364.58
今回発表予想(B)	1,556	34	57	30	1,562.50
増減額(B-A)	△144	24	42	23	
増減率(%)	△8.5	240.0	280.0	328.6	
(ご参考)前期第2四半期実績 (平成20年12月期第2四半期)	1,829	70	84	40	2,104.14

平成21年12月期通期個別業績予想数値の修正(平成21年1月1日～平成21年12月31日)

	売上高	営業利益	経常利益	当期純利益	1株当たり当期純利益
	百万円	百万円	百万円	百万円	円 銭
前回発表予想(A)	3,600	70	80	40	2,083.33
今回発表予想(B)	3,400	100	120	65	3,385.42
増減額(B-A)	△200	30	40	25	
増減率(%)	△5.6	42.9	50.0	62.5	
(ご参考)前期実績 (平成20年12月期)	3,557	22	39	1	55.62

修正の理由

第2四半期累計期間においては、景気後退と出版業界の構造的不況の影響を受け、書籍販売を始め、インターネット広告も低調に推移しました。一方で昨年より実施した主力雑誌オズマガジンのリニューアルによる媒体力の強化とコスト構造改革により、雑誌の販売及び広告売上は堅調に推移し、全社をあげて取り組んだ経費削減も功を奏しました。このようなことから、第2四半期累計期間の売上高は15億56百万円(前回予想比1億44百万円減)と予想を下回ったものの、営業利益は34百万円(前回予想比24百万円増)、経常利益は57百万円(前回予想比42百万円増)、四半期純利益は30百万円(前回予想比23百万円増)となる見込みであります。

通期期間においても、景気環境は引き続き不安定で、実体的な消費回復には時間がかかるものと予想されます。当社としましては書籍及び雑誌の安定的な収益管理を継続するとともに、インターネット事業の予約手数料ビジネスを拡大し、強力に推進させていただきます。

第2四半期までの業績及び上記の理由から通期業績予想におきましても、売上高34億円(前回予想比2億円減)、営業利益1億円(前回予想比30百万円増)、経常利益1億20百万円(前回予想比40百万円増)、当期純利益(前回予想比25百万円増)と修正させていただきます。

※上記の予想につきましては、当社が現時点で入手可能な情報による判断及び仮定に基づくものであり、今後の経済情勢、事業運営における様々な状況変化によって、実際の業績は見通しと異なる場合があります。

以 上